



**平石利雄さんが茨城県民間自治功労者表彰受賞
約19年にわたる公正な選挙運営への尽力と貢献**

平石利雄さん(高道祖・77歳)が、茨城県市長会主催の茨城県民間自治功労者表彰を受賞しました。平石さんは平成18年1月から約19年の長きにわたり、下妻市選挙管理委員会の補充員や委員を務め、平成29年4月からは委員長として重責を担われました。

在任中は豊富な経験と深い知見を生かし、数多くの選挙を公平かつ適正に執行されました。特に委員長としては、組織の運営や職員への指導を通じ、民主主義の根幹である公正で信頼される選挙運営の推進に尽力されました。また、令和4・5年度には茨城県市町村選挙管理委員会県西連合会会長としても、近隣市町村との連携強化や事務水準の向上に大きく寄与されました。

受賞に際し、平石さんは「このような賞をいただき、ありがとうございます」と感謝の言葉を述べられました。このたびの受賞おめでとうございます。 ㊟ 秘書課



程塚裕行さんが監査委員に選任

令和8年第1回市議会定例会において、程塚裕行さん(若柳)が議会選出監査委員に選任されました。

監査委員は、公正な立場で、市関係機関の財務に関する事務が適正かつ効率的に行われているかを監査します。

㊟ 総務課

下妻市男女共同参画講演会

男女共同参画の視点から学ぶ災害対応と地域防災力の向上

3月13日、下妻公民館大会議室において「下妻市男女共同参画講演会」が開催されました。当日は、消防防災課の河井繁樹危機管理監による「防災のはなし」をテーマとした講演が行われ、多くの市民が参加しました。

この事業は、男女共同参画の視点を取り入れることで災害対応力を高めることを目的に下妻市が主催し、下妻市女性団体連絡会の協力により実施されました。講演では、災害時における多様なニーズへの対応や、避難所運営における男女共同参画の必要性について具体的な解説がありました。参加者は、日頃からの備えや地域での協力体制の重要性について理解を深めました。

参加者からは「災害は忘れたころにやってくる」改めて肝に銘じておきたい」「とっさの防護行動についてなど、改めて防災意識を強く持った」などの感想が寄せられました。

講演を通じて、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の向上について考える有意義な機会となりました。 ㊟ 福祉課



**市立小・中学校で卒業式
学び舎での思い出を胸に新たな一歩**

3月10日に市立中学校3校で、19日には市立小学校9校で卒業式が行われ、児童生徒が通い慣れた学び舎を巣立ちました。

中学校の卒業式では、364名の卒業生が新たな道へと一歩を踏み出しました。厳粛な雰囲気の中、生徒たちは壇上で校長先生から卒業証書をしっかりと受け取り、3年間の中学校生活を振り返りながら思い出を胸に刻みました。式後には、友との別れに涙を流す姿や、将来への希望に満ちた晴れやかな笑顔が交錯し、感動的な光景が見られました。

小学校では、358名の卒業生が進学先の中学校の制服に身を包んで出席し、6年間の心身の成長を保護者や地域の方々に誇らしげに披露しました。恩師や在校生との別れを惜しむ姿が各所で見られ、名残惜しさを感じながらも立派な態度で式に臨んでいました。

ご卒業おめでとうございます。

㊟ 教育総務課

①②③東部中学校の卒業式の様子
④⑤⑥下妻小学校の卒業式の様子

新入学児童へ交通安全帽子と傘を寄贈

JAが児童の安全な登校を願って

2月19日、JA常総ひかりから市立小学校の新1年生に向けて、交通安全帽子と交通安全傘が寄贈されました。

この活動は、黄色い帽子を着用することで児童が安全に登校できることを願い行われているもので、令和5年からは交通安全傘の配布も開始されました。当日は同組合の関係者が訪れ、子どもたちの交通安全への願いが込められた品が市へ手渡されました。

磯山仁代表理事専務は「これからもこの活動を通じて、豊かで安心できる地域社会づくりに貢献したい」と述べ、地域全体で子どもたちを見守ることの大切さを話しました。

寄贈された帽子と傘は、4月から新1年生となる児童たちの安全な通学を支える大きな力となります。

㊟ 教育総務課



左から益子下妻支店長、中山教育長、菊池市長、磯山代表理事専務、相山共済部長、植田下妻千代川支店長